

## 「活動の概要と研究成果」

NO.J2421

活動題目: 仏教とナショナリズム—20世紀ベトナムの仏教諸団体を例に—

所属: 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

氏名: 金知雲

本研究活動は、20世紀の激しい社会変動のなかでナショナリズムの影響を受けた「ベトナム仏教」の歴史的展開を明らかにすることを目的とする。具体的には、宗派(大乘・上座部など)、エスニシティ(ベトナム人・華人・クメール人など)、地域(北部・中部・南部)という諸要因により乱立した仏教諸団体が「ベトナム仏教」の概念をめぐる競い合い、最後には国家により強制的に一つに統合させられてしまう歴史的過程を解明する。

活動1年目である2024年度には、ベトナム国家大学ホーチミン市校傘下の人文社会科学大学ベトナム学科の協力を得てホーチミン市での文献調査を行うことができた。文献調査を行った機関としては、①第二国立公文書館、②ベトナム国家大学ホーチミン市校傘下の人文社会科学大学図書館、③フエクワン図書館(仏教関連図書館)、④仏教学院ホーチミン市校のチクワン図書館、合わせて4か所である。①、②、③の情報に関しては、「ベトナム・ホーチミン市での文献探しの旅」『アジア・アフリカ地域研究』第24-2:254-257(2025年3月)に掲載された。

複写・スキャンなどを通して確保できた資料の種類は次の4つに分けられる。

I. 仏教関連公文書(1951年—1974年)

II. 仏教刊行物(雑誌やパンフレットなど、1950年代—1970年代)

III. ベトナム仏教教会の文書(1981年以降)

IV. ベトナム国内の学界の学術書(2000年以降)

現在、IVの資料に基づき、20世紀ベトナム仏教史がどのように語られているのかを分析する論文を執筆している。I、II、IIIの資料においては、2年目の活動で確保する資料(第一・第三・第四国立公文書館所蔵資料)と合わせて、今後執筆する博士学位論文の一次史料として活用する予定である。